

国東警察署協議会

第1回会議の開催状況

第1 開催月日

令和6年6月27日（木）

第2 出席者

協議会 委員 5名

警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、
空港警備派出所長、警備課長 7名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・令和6年5月末現在の管内概況や業務推進状況等について説明がなされた。

2 諮問事項について

本年度の諮問事項「交通事故防止対策及び詐欺被害防止対策」について、警察署から次の説明がなされ、各委員から了承された。

- (1) 交通事故防止対策については、高齢者が当事者となる交通事故が多数発生している一方、学生が当事者となる自転車事故が散見されており、主に自転車を利用する若年層に対する対策も必要となっている。これらの特性を踏まえたうえで、限られた警察力を有効に活用し、交通安全を確保する方策についての提言を求めたい。
- (2) 詐欺被害防止対策については、特殊詐欺は昨年同期と比べると減少傾向にあるものの、SNS型投資・ロマンス詐欺被害が急増している。この状況に対して、先日当署員や国東市長の出演によるケーブルテレビ番組を放送し、防犯対策を行っているところである。委員の皆様から、それぞれの視点から忌憚のないアイデアを提言していただきたく諮問する。

3 諮問事項についての意見・要望等

- (1) 交通事故防止対策について

委員から、

ア 事故の約4割がスーパーマーケット等の駐車場で発生しているということであるので、まずはそこから対策が必要であると考え。

イ 防災無線やケーブルテレビにより注意喚起を行っていただきたい。

ウ 市民にバック駐車を浸透させることや、駐車枠を市松模様のように白黒に塗り一台おきに駐車させるという取組を実験的に行うことはどうか。

旨の意見がなされ、警察署から「駐車場を塗装するといった対策は店舗に金銭的負担が生じるものであるから、まずは店舗に協力を求めて交通安全運動期間中等に、駐車場で注意喚起のビラ配りを行うといったところから始め、店舗や利用者の安全意識を高める活動を行いたい」旨の説明がなされた。

(2) 詐欺被害防止対策について

委員から、

ア SNSを利用した詐欺が増えている中、社会人だけでなく中学生や高校生にもSNSの使い方について教育する事も大切だと思う。学校や老人クラブの会合で対策を呼びかけていく事が大事である。

イ 市の広報を通じて出前講座を周知してみてもどうか。

旨の意見がなされ、警察署から「地区や公民館単位で駐在所に防犯講話の要請が来ており、その都度対応しているところであるが、それを待つだけではなく、押しかけ講話もやっていきたい」旨の意見がなされた。

4 その他の意見・要望

(1) 学生の自転車事故について

委員から「注意喚起をするにあたり、具体的な事故の実例を出すと個人が特定されてしまうおそれがあるがどうするべきか」旨の質問がなされ、警察署から「具体的な実例は出せないの、交通教室等を開催する際に、自転車利用時に注意すべき事項を認識してもらえようようなビデオを視聴してもらうなど、工夫して取り組んでいきたい」旨の説明がなされた。

(2) DV・ストーカー対策について

委員から「DVやストーカーなどで、1年位何もないからといって油断して殺人事件となってしまうといったようなケースがある。長期的な対応が必要と思われるが、被害者を守るためにこういった対策をしているのか」旨の質問がなされ、警察署から「取扱いがあれば、各部門間で情報共有を行い、まず直近の対策としては離間措置をとり身体の安全を図る。その後は定期的に状況確認や被害者連絡をしていく。危害のおそれの有無や被害者の意向を総合的に検討し、警察の対応が不要と判断されるまでは、被害者の安全確認のため各種取組をしている」旨の説明がなされた。